

【不祥事根絶に向けた本校の決意】（行動基準）

私たちは「子どもたちを預かり育む」という共通の大切な使命をもっています。

海田東小学校の職員は、全力で、チームで、子どもたちを育てます。

子どもたちは、私たちの姿を見て育ちます。

- 1 私たちは、子どもたちを守り、育てます。
- 2 私たちは、法令を遵守します。
- 3 私たちは、不祥事を許しません。
- 4 私たちは、地域に開かれた学校にします。

## 不祥事防止対策に係る研修計画

海田町立海田東小学校  
作成責任者 校長 小村 孝広

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	研修等計画	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	○年間計画に基づき、計画的に服務研修を実施しているが、当事者意識が弱い。	○服務研修の方法や内容等を改善し、自己の課題として実感できるようにする。	○ロールプレイを取り入れたたり、ヒヤリ・ハット事案を取り上げたりし、より自らのこととして自覚するよう研修内容を工夫する。 ○定期的にチェックシートを実施する。	○服務研修計画に沿って研修を計画的に実施する。 ○職朝、暮会等でタイムリーに服務研修を行う。	○不祥事防止委員会で研修内容の事前検討を行う。  ○学期に一回チェックシートを実施する。
学校組織としての不祥事防止体制の確立	○教職員個々の規範意識は高いが、教職員同士の声かけは十分とは言えない。	○本校の取組目標や方針を全教職員で共有する。  ○チームで子どもたちを育てるという意識を常にもち、取組を進める。	○本校の決意カードを常に携帯し、暮会等で確認し合う。  ○学年会、部会等をさらに活性化させ、企画・運営は担当者だけでなくチームで行う。	○不祥事防止委員会を月に1回は行う。	○毎月1回確認する。  ○学年主任会や企画委員会、不祥事防止委員会等で情報交換を行い、状況を把握する。
相談体制の充実	○「体罰、セクシャル・ハラスメント相談窓口」の周知、定期的なアンケートの実施により、さらに事案の早期発見に努める。	○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の周知、アンケートの実施により、未然防止、早期発見に努める。	○学校だより等で、保護者等に再度周知するとともに、担当教職員を明記した相談窓口の案内を校内の全教室に掲示する。 ○担当が児童一人一人と個別に話をする機会を設ける。	○定期的に窓口を周知する。  ○定期的に実態把握をする。 ○相談に対する対応の仕方等について共通理解を図る。	○学期末に児童、保護者、教職員を対象にアンケートを実施する。 ○学期に一回以上児童と個別面談をする時間を設ける。

